



令和3年10月30日(土)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 河崎 晃二

# 開四小だより

## 11月号

### みんなが輝いた音楽会

校長 河崎 晃二

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が、ようやく50人以下となる日が続くようになりました。また、重傷患者数も大きく減ってきています。

学校では、10月より緊急事態宣言が解除され、以前よりは制限が緩和された中で学習が進められ、できることも増えて、より充実した学校生活を過ごしています。今後も、感染症予防をしっかりと行い、活気ある学習や活動が行えるよう努力して参ります。

\*

さて、昨日と本日の音楽会は、感染症拡大予防のために密を避け、例年とは違った形で行いました。このような状況でしたが、ご来校いただいた保護者の皆様から、子供たちへ温かい心のこもった拍手をいただき、どの子どもとても満足した表情をしておりました。誠にありがとうございました。

音楽会は、日頃からの音楽学習で、取り組んできたリズムや合奏などの成果を発表する場です。どの学年もこの日のために一生懸命に練習に取り組んでいました。子供たちは、練習を重ねるごとに表現力を増し、先生の指導にも一段と熱が入っていました。私が校長室にいても、楽器を演奏する音色が校舎内に響き渡るのが分かりました。中には、自主的に練習する姿もあり、生き生きと練習している様子を見ることができました。

本番では、子供たちは緊張しながらも精一杯演奏し、どの学年もすてきな音楽を奏でていました。そして、全力で演奏する子供たちの目や表情には、教室とは一味違った輝きがありました。一人一人が演奏する楽器の音色が調和し、みんなで一つの曲を創り上げ、まさに「みんなが輝いた音楽会」でした。

今回の音楽会を通して子供たちは、「みんなで一つになって演奏する大変さや素晴らしさ」「練習の大切さ」「集中力の必要性」「緊張する中で力を発揮することの難しさ」「上級生の頼もしさや表現力の高さ」を学びました。

この音楽会で学んだことは日常の生活にも生かすことができます。

まず、「自分のパートをしっかりとやる」ことは、日常に置き換えると「自分がやるべきことをしっかりとやる」ことにつながります。

また、「他のパートを聞きながら調整して、みんなで曲を作り上げていく」は、「周りの人のことも気かけ、みんなで協力してよりよい生活を過ごす」ことにつながります。この音楽会での経験は、子供たちにとって、きっと大きな財産になることでしょう。

最後になりましたが、皆様の温かいお心に支えられ、無事に音楽会を大きな混乱もなく終えることができましたことを深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

